野菜需給協議会現地協議会の概要について

野菜需給協議会では、協議会会員が野菜生産現場に赴いて農協・生産者の方々等と直接意見交換を行うことにより、野菜生産の実態を理解することを目的として、平成２４年２月７日（火）に千葉県銚子市において、現地協議会を開催した。

１　予冷施設及びトマト選果場見学

１０時３０分からＪＡちばみどり営農センター銚子を訪れて、大型野菜予冷施設「グリーンホーム銚子」及びトマト選果場を見学した。

予冷施設は、集荷したキャベツ、だいこん等の鮮度保持を行うための施設で、４月後半～５月の出荷の最盛期には、最大１０万ケースを一度に保管することが可能とのこと。今の時期は予冷の必要がないため冷蔵施設は稼働してないが、集荷施設として利用されており、梱包された野菜を運ぶフォークリフト等が行き交っていた。

トマト選果場は、冬場は出荷が少ないため、週２回程度の稼働であるが、機械だけでなく、人の目でも厳しく選別されているとのこと。

２　意見交換会

１１時４５分から銚子プラザホテルにおいて、地元の生産者等から産地の現状について説明を受け、その後、参加者との意見交換を実施した。

〇意見交換会議事概要についてはこちら

３　直売所見学

その後、イオンモール銚子へ移動し、この中にあるＪＡちばみどりの直売所「みどりの大地」を見学した。産地ならではの新鮮な旬の野菜が安値で販売されており、参加者もいろいろな野菜を購入していた。